

貸借対照表（平成28年3月31日）（単位：万円）

資 産	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
固 定 資 産	408,131	881,405	964,598
有形固定資産	341,615	364,952	958,834
無形固定資産	2	516,453	5,764
投 資	66,514	0	0
流 動 資 産	133,544	60,151	60,286
現 金 預 金	130,518	56,111	37,724
未 収 金	2,644	3,979	22,532
貯 蔵 品	341	31	0
その他流動資産	41	30	30
資 産 合 計	541,675	941,556	1,024,884

負 債	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
固 定 負 債	73,258	521,355	267,257
企 業 債	66,343	453,740	254,825
リ ー ス 債 務	88	0	0
庁舎建設負担金	0	0	5,439
他会計借入金	0	66,385	0
引 当 金	6,827	1,230	6,993
流 動 負 債	21,975	52,586	43,394
企 業 債	4,355	50,592	32,208
リ ー ス 債 務	88	0	0
庁舎建設負担金	0	0	124
他会計借入金	0	129	0
引 当 金	649	44	402
未 払 金	7,472	1,737	10,552
その他流動負債	9,411	84	108
繰 延 収 益	79,777	120,652	380,955
負 債 計	175,010	694,593	691,606

資 本	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
資 本 金	107,336	286,291	0
自己資本金	107,336	286,291	0
剰 余 金	259,329	△39,328	333,278
資 本 剰 余 金	165,091	4,607	232,769
利 益 剰 余 金	94,238	850	100,509
欠 損 金	－	44,785	－
資 本 計	366,665	246,963	333,278
負債・資本合計	541,675	941,556	1,024,884

貸借対照表って何？

財産状況を示すもので、経営する上で必要な資金をどのようにして集めて運用しているかを明らかにします。

大きく分けると、「資産」「負債」「資本」とに分かれます。「資産」が手持ちの財産内訳で、「負債」「資本」がその財産を取得したときの方法です。このため、「資産」は、「負債」と「資本」の合計と同じ金額になります。そのことからバランスシートとも呼ばれています。

家計に例えると、貸借対照表は、1年間やりくりした結果、年度末時点での家計の状況を示したものとなります。「資産」は、持っている土地や家などの財産や預金・現金などになります。「負債」は、家のローンなどの借金になります。「資本」は、家庭を築いたときの元手や、その年度の利益や損失が含まれます。

貸借対照表

資産	負債
	資本



家計に例えると

家の財産	借金
	元手

平成27年度
水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業
決算の概要

問い合わせ 上下水道局 業務課 ☎02193



水道事業



給水人口の減少や節水機器の普及、節水意識の定着などにより使用水量が減少し、料金収入が年々減少する非常に厳しい経営状況です。平成27年度は、職員数の減少に伴う退職引当金（※）の戻入などの特別利益が発生したため、黒字となりました。しかし、営業収支は昨年度より営業損失額が大きくなっており、より一層の経費の削減などによる経営の健全化に努めます。

平成27年度の収益的収支は、収入総額5億3、446万8、525円、支出総額4億9、809万6、738円で、差し引き3、637万1、787円の純利益となりました。（消費税および地方消費税を含まず）



工業用水道事業



公共下水道事業

これまで安定した工業用水の供給を行うことで、本市の産業活性化に寄与してきました。しかし、旧第2期工業用水道事業の企業債償還利息や減価償却費が財政を大きく圧迫し、損益計算で欠損金が生じているなど、厳しい経営状況となっています。今年度は利益を計上しましたが、今後も、適切な施設の維持管理と、より一層の経費の削減などによる経営の健全化に努めます。

平成27年度の収益的収支は、収入総額5億1、756万7、917円、支出総額4億8、043万9、549円で、差し引き3、712万8、368円の純利益となりました。（消費税および地方消費税を含まず）

上下水道局の会計



水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業の会計は、地方公営企業法に基づき、複式簿記・発生主義を基本とする企業会計を行っています。複式簿記とは、単に現金の増減記録（単式簿記）だけでなく、経済取引によって生じた「結果」とその「原因」の両面により記録する手法です。これは、より効率的な運営をするために、経営成績・財政状況を的確に把握し、業務の適正な評価をするために行っているものです。

平成27年度決算書は市立図書館や情報公開コーナー（市役所本庁1階）でご覧いただけます。また、上下水道局で販売しています。（500円）

損益計算書って何？

1年間の営業活動の内訳で、「収益」と「費用」に分けることができます。その企業がいくらの「収益」を得て、いくらの「費用」が生じたのかを表したものです。また、その差し引により、その年の利益（または損失）がいくらあったのかを知ることができます。

損益計算書

費用	収益



家計に例えると

支出	給料などの収入
黒字分	

家計に例えると、損益計算書は、家計を1年間やりくりした実績を表したものです。これにより、1年間で黒字だったのか、赤字だったのかが分かります。「収益」は、働いて得た給料などの収入や、株の売却益などの臨時収入です。「費用」は、家計における支出で、食費、電話代、保険料、借金の利息などです。全ての稼ぎから、全ての支出を差し引いたものが、黒字（または赤字）額になります。

損益計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：万円）

収 益	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
料 金 収 入	42,695	46,893	46,762
その他営業収益	1,817	13	19,157
営 業 外 収 益	6,424	4,694	27,979
そ の 他	2,511	157	392
収 益 合 計	53,447	51,757	94,290

費 用	水道事業	工業用水道事業	公共下水道事業
人 件 費	5,174	874	2,871
物 件 費	16,339	10,121	31,980
動 力 費	558	178	16
受 水 費	10,271	0	0
支 払 利 息	1,898	10,289	6,365
減 価 償 却 費	15,255	26,582	43,279
そ の 他	315	0	4,332
費 用 合 計	49,810	48,044	88,843
純利益（純損失△）	3,637	3,713	5,447

※ 消費税および地方消費税抜き。